

岩手県立宮古病院
電気設備等保守点検業務仕様書

電気設備等保守点検業務仕様書

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この仕様書は、岩手県立宮古病院（以下「病院」という。）の電気設備等保守点検業務（以下「保守業務」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(適用範囲)

第 2 条 この仕様書は、病院が管理する電気設備等について適用する。ただし、別に保守業務に関する委託契約等を締結している事項については、その定めによるものとする。

(遵守義務)

第 3 条 受託者は、電気事業法、建築基準法、消防法、及びその他の関係法令並びに契約内容を遵守し、誠実、かつ、適正に保守業務を遂行しなければならない。

第 2 章 保守業務

(実施工程表)

第 4 条 受託者は、あらかじめ、保守業務の区分ごとに実施工程表を作成して、病院長に提出しなければならない。

2. 当初の実施工程表に変更が生じ、その内容が重要と判断された場合には、その都度、変更実施工程表を病院長に提出しなければならない。
3. 実施工程表について、病院長が特に指示した場合には、さらに、細部の実施工程表を提出しなければならない。

(実施計画書)

第 5 条 病院長が必要と認める場合には、あらかじめ、保守業務に必要な実施計画書を病院長に提出しなければならない。この場合には、次の事項について記載するものとする。

- (1) 保守業務の概要
- (2) 現場組織表及び安全管理組織表
- (3) 仮設備計画書
- (4) 緊急時の連絡体制
- (5) その他必要な事項

(保守業務の種類)

第6条 受託者が行う保守業務の種類は、次の表の左欄に掲げる区分に応じ、同表の右欄に掲げる電気設備等の保守業務とする。

区 分	電気設備等の保守業務の種類	備 考
電気設備	1. 自家用発電設備	
防災設備	1. 自動火災報知設備	
	2. 非常放送設備	
	3. 誘導灯・誘導標識設備	
	4. ガス漏れ警報設備	
	5. 防排煙設備	
	6. 非常通報設備	
	7. 非常警報設備	

(巡視、点検の種別)

第7条 電気設備等の巡視、点検の種別は、周期点検、随時点検及び臨時点検とし、電気設備及び防災設備の区分に応じて、それぞれ次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 電気設備の周期点検は、無停電で行う6ヶ月周期の点検と、全停電（商用電源、自家用電源を停止）で行う12ヶ月周期の点検とする。
- (2) 防災設備の周期点検は、6ヶ月周期で行う外観、機能の点検と、12ヶ月周期で行う総合点検とする。
- (3) 随時点検は、電気設備及び防災設備の機能保持のため、病院が必要と判断した場合に行う点検とする。ただし、受託者が自主的に行う場合は、この限りではない。
- (4) 臨時点検は、電気設備及び防災設備の故障等緊急時に行う点検とする。

(周期点検の時期等)

第8条 電気設備等の周期点検は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間において、病院が指定する次の期間内に実施することを原則とするが業務の都合により変更することがある。

- (1) 6ヶ月周期の点検は、3月上旬から下旬までの1ヶ月のうち、あらかじめ病院が指定した日時とする。

(2) 12ヶ月周期の点検は、9月中旬から10月上旬までの1ヶ月間のうち、医療業務に比較的支障の少ない土曜日、または日曜日、もしくは平日の午後9時以降で、あらかじめ病院が指定した日時とする。

(巡視、点検の方法)

第9条 電気設備の巡視、点検は、自家用電気工作物保安規程第15条第1項、第2項及び消防法第17条の規定に基づき、電気専門技術者、消防設備士免許取得者を派遣して、病院の担当者及び電気主任技術者の指示により、次の各号に記載した要領で実施するものとする。

(1) 電気設備の周期点検(6ヶ月、12ヶ月)は、別紙の「電気設備保守点検表」により行うものとし、点検結果は、判定欄の良には○印、否には×印を記入すること。ただし、否と判定した場合には、設備欄等に原因及び措置状況を簡潔に記入すること。

(2) 防災設備の周期点検(6ヶ月、12ヶ月)は、別紙の「防災設備保守点検表」により行うものとし、点検結果は、判定欄等に正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入すること。ただし、否と判定した場合には、備考欄等に原因及び措置状況を簡潔に記入すること。

(3) 12ヶ月周期の点検時に行う機器等の判定、整定及び試験の結果は、指定された様式により取りまとめること。

(4) 随時点検は、原則として周期点検に準じて行うこと。

(5) 臨時点検は、病院から要請を受けた都度、必要人員等を確保して、速やかに対処すること。

(作業の中止)

第10条 周期点検の作業中において、緊急に復電を要する事態が発生した場合には、電気主任技術者の指示により、ただちに作業を中止して、復電の措置を講ずるものとする。

(費用の負担)

第11条 次の各号に掲げる費用は、受託者の負担とする。

(1) 電気設備等の保守業務に要する人件費、物件費等は、病院が別途考慮する場合を除き、受託者の負担とする。

(2) 保守業務に伴って、あきらかに受託者の責任に起因して発生した機器等の故障、または、破損については、その取替等に要する費用は、受託者の負担とする。

2. 前項各号以外事項については、契約当事者双方が、別途協議して解決に努めるものとする。

(報告書の提出)

第12条 受託者が行う保守業務については、委託者の立ち会いのもとに実施し、

保守業務が完了後、速やかに、巡視、点検の結果及び記録等必要な事項を記載した報告書を病院長に提出し、確認を受けなければならない。

第13条 受託者は、契約締結後、ただちに、現場代理人届を病院長に提出し、承認を受けなければならない。

ただし、その際には、氏名、年齢、住所、最終学歴及び資格並びに業務歴等を記載した経歴書を添付しなければならない。

第 3 章 安全作業

(心構え等)

第14条 受託者は、保守業務に先立ち、作業指揮者、または、作業責任者を指定し、次の各号に掲げる事項の趣旨をはかり、作業の安全に心がけなければならない。

(1) 保守業務を行うにあたっては、作業員に対し、安全標識に表示されている事項を守らせること。

(2) 保守業務を行うにあたっては、作業員は必ず作業指揮者の指示に従い、相互の協力を努めること。

(3) 安全を確保するため、作業指揮者及び作業者は、不完全な状態の発見に努めるとともに危険個所の予知と全員による確認の徹底をはかること。

(4) 作業を行うにあたっては、保安帽及びその作業に適した作業服を着用するとともに、腕章若しくは名札を着けて作業従事者であることを明らかにすること。

(準備)

第15条 作業指揮者は、作業前に作業者全員とミーティングを行い、作業の内容、方法、手順、時間、範囲、及び作業者の配置、作業分担並びに安全用具の装着などについて適切な指示をあたえるとともに、次の事項に留意すること。

(1) 作業指揮者は、作業の安全を確保するため、適時適切な指示を与えること。

(2) 作業の着手に際しては、作業区分と立入禁止区域をロープ、標示旗、標示棒などで区画し、作業範囲を明示すること。

(3) 高所へ登る前には、周囲の状況を十分に把握し、安全を確認するとともに安全帯を使用するなど墜落防止措置を講じること。

(停電作業前の検電)

第16条 停電作業を行う際は、作業指導者は必ず作業着手前に検電器具を使用して検電し、設備の状態の調査と危険性の有無を確認するとともに次の各号に掲げる事項に留意すること。

(1) 高圧受変電設備及び高圧引込設備の作業を行う際は、遮断器及び開閉器を

開放（引き出しタイプの遮断器については開放した後に引き出す。）し、作業を行う電路を検電器具を使用して検電し、充電していないことを確認すること。

（２）作業を途中で中断し、再度実施するときは、その都度作業を行う電路を検電器具を使用して検電し、充電していないことを確認すること。

（３）検電器具は、その検電性能の維持に努め、使用前には必ず厳重な点検をすること。

（停電作業中の接地手順）

第17条 停電作業中の接地については、次の各号に掲げる事項を厳守すること。

（１）高圧受変電設備及び、高圧引込設備の電路を開路して作業を行う際は、他線よりの誘導又は、交差、近接点の接触による思いがけない事故などによって、充電される危険があるので、簡単な作業でも必ず作業箇所に接地器具を使用して接地を取付け、作業の安全をはかること。

（２）接地は、関係開閉器の開路を確認したのち、検電器具などで充電されていないことを確かめてから行うこと。

（３）短絡接地器具を取り付ける位置は、なるべく電路を開路した位置に近い見易い位置とすること。

（４）短絡接地器具を取り付けるには、先ず接地側金具を接地線に接続し、次に電線側金具を電路の各相に確実に接続させること。

（５）接地をはずすには、まず電線側金具をはずし、次に接地金具と接地線との接続をはずすこと。

（作業及び後始末）

第18条 作業及び後始末は次の各号に掲げる事項に留意しながら進めること。

（１）作業者は、作業指揮者から指示された以外の作業及び指示された手順によらない作業は厳に行わないこと。

（２）高圧電路を開路しようとする場合は、先ず、検電器具を充電部に近づけて、その性能を確かめたうえで電路を開路し、必ず検電器具による検電を行い、充電していないことを確認すること。

（３）高圧電路を開路したときは、短絡接地器具により必ず残留電荷を放電させること。

（４）高圧電路を開路したときは、短絡接地器具を取付けて短絡接地すること。

（５）作業が終了し、通電する場合には、作業者が全員感電の危険のある位置を離れたこと及び短絡接地器具を取りはずしたことを確認すること。

（６）作業が終了したときは、作業に手落ちがないこと、残材料、工具などの置き忘れがないことを確かめ、後始末を完全にすること。

（７）作業が終了したときは、保護具、工具などの数量を確認すること。

岩手県立宮古病院

電気設備等保守点検表

電気設備保守点検表

点検周期 12ヶ月

区分	対点 検 象の	チェック項目	判 定		備 考
			良	否	
自 家 用 発 電 電 機 設 備	地 下 ・ 発 電 機 室	1. 室内環境			
		1) 排気や入気の換気はよいか			
		2) 塵埃、よごれはないか			
		3) 壁等にひび割れ、はく離はないか			
		4) 雨、雪などの吹き込み、侵入するおそれはないか			
		5) 室内の温度、湿度はよいか			
	6) 室内の整理、整頓はよいか				
	2. 備品等の確認				
	1) 消火器の数量、配置個所はよいか				
	2) 標識等は見易い箇所に貼付けてある				
	3) 照明設備はよいか、不点はないか				
	4) 予備品等は、整備、保管してあるか				

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	点検の象	チェック項目	1 機 備			2 号 機 備			機 考			機 考				
			周 期	判 定	考	周 期	判 定	考	周 期	判 定	考	周 期	判 定	考		
			6	12	良	否	6	12	良	否	6	12	良	否		
自家発電設備（地下発電機室）	内 燃 機 関	1. 設置状況														
		(1) 据付脚の支持用ボルト、ナットにゆるみ、発錆はないか	○	○			○	○								
		(2) 防振用ゴム台座にひび割れ、損傷はないか	○	○			○	○								
		(3) 床面に油や水が流れた形跡はないか	○	○			○	○								
		(4) 不要品を放置していないか	○	○			○	○								
		(5) 外観上不具合箇所はないか	○	○			○	○								
		2. 燃料油装置														
		(1) 噴射ポンプの機能はよいか	○	○			○	○								
		(2) 噴射ポンプの保護カバーにゆるみはないか	○	○			○	○								
		(3) 噴射ポンプから油洩れはないか	○	○			○	○								
		(4) 噴射ポンプ点検フタから油漏れはないか。又ボルトのゆるみ、パッキンの不具合はないか	○	○			○	○								
		(5) デコンプハンドルの位置はよいか	○	○			○	○								
		(6) 燃料主管のゆるみはないか。又、接続部からの油洩れはないか	○	○			○	○								
		(7) 燃料油コシ器の分解掃除をしたか	-	○			-	○								
		(8) 燃料油コシ器のエレメントを交換したか	-	○			-	○								
		(9) 燃料フィルターポンプの機能はよいか 又、油洩れはないか	○	○			○	○								
		(10) 燃料油の配管に色別及び、経路を表示してあるか	○	○			○	○								
3. 潤滑油装置																
(1) 潤滑油ポンプに磨耗、亀裂、損傷及び油洩れはないか	○	○			○	○										
(2) 潤滑油ポンプのボルト、ビス等にゆるみはないか	○	○			○	○										
(3) 潤滑油コシ器の分解掃除をしたか	-	○			-	○										
(4) 潤滑油コシ器のエレメントを交換したか	-	○			-	○										
(5) 潤滑油槽（オイルパン）の油面は適正か 又、油洩れはないか	○	○			○	○										
(6) 潤滑油圧力調整弁から油洩れはないか	○	○			○	○										
(7) 潤滑油の配管に色別及び、経路を表示してあるか	○	○			○	○										

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	点検の象	チェック項目	1 号機			2 号機			備考	判定	備考
			周	期	判	周	期	判			
			6	12	良	6	12	良	6	12	
自家用発電設備 (地下・発電機室)	内燃機	4. 冷却水装置									
		(1) 冷却水ポンプのシール部から水洩れはないか	○	○							
		(2) 冷却水ポンプに異音、異臭、過熱はないか									
		(3) 冷却水量調整弁から水洩れはないか	○	○							
		(4) 冷却水量は十分か。又、流れは順調か	○	○							
		(5) 冷却水管の継手から水洩れはないか。又、パッキン、ボルト等にゆるみはないか	○	○							
		5. 機関往復運動装置									
		(1) カム室に異音はないか	○	○							
		(2) カム室のフタから油漏れはないか	○	○							
		(3) クラック室のフタから油漏れはないか	○	○							
		(4) クラック室に異音はないか	○	○							
		6. 調整装置									
		(1) 作動油は十分か、補給はよいか	○	○							
		(2) ガバナリンクの作動はスムーズか	○	○							
		(3) ガバナハンドルの動作はよいか	○	○							
		(4) 油洩れ、異音、異臭はないか	○	○							
7. 過給機装置											
(1) 吸気フィルターの目詰まり、損傷はないか	○	○									
(2) 空気冷却器 (インタークーラー) から水洩れはないか	○	○									
(3) 空気冷却器に錆、損傷はないか	○	○									
(4) 空気冷却器のボルト、ナットにゆるみはないか	○	○									
(5) ターボチャージャーに異音、異臭はないか	○	○									
(6) 消音器に異常はないか	○	○									
8. 排気装置											
(1) 排気消音器、逆流防止器及び、ミスト管のドレン抜きはしたか	○	○									
(2) 排気消音器、ミスト管の支持架台及び支持用吊ボルトにゆるみはないか	○	○									
(3) 保護カバーに損傷、ひび割れ、汚れはないか	○	○									
(4) 排気消音器等から油煙や油洩れはないか	○	○									

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	点検の象	チエック項目	1号機			2号機			備考			備考							
			周 6	判 良	定 否														
自家用発電設備（地下・発電機室）	発電機（ブラシレス同期発電機）	1. 設置状況	○			○													
		(1) 据付脚の支持用ボルト、ナットにゆるみ、錆等はないか	○			○													
		(2) 防振用ゴム台座にひび割れ、損傷はないか	○			○													
		(3) 床面に油や水が流れた形跡はないか	○			○													
		(4) 不要品を放置していないか	○			○													
		(5) 外観上不具合箇所はないか	○			○													
		2. 絶縁抵抗の測定値																	
		(1) 電機子巻線はよいか	-	○		-	○												
		(2) 界磁巻線はよいか	-	○		-	○												
		(3) 主回路相互間はよいか	-	○		-	○												
		(4) 主回路と大地間はよいか	-	○		-	○												
		3. 各部の点検																	
		(1) 軸受の油は不足してないか	○			○													
		(2) 端子接続部のボルト、ナットのゆるみはないか	○			○													
		(3) ケーブルヘルムの支持状態はよいか	○			○													
(4) 異常振動、異臭、過熱はないか	○			○															
記事																			

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	点検対象	子エツク項目	1号発電機盤			2号発電機盤			同期			盤考			補機			盤考				
			周	期	判	定	周	期	判	定	周	期	判	定	周	期	判		定			
																				6	12	良
自家用発電設備(地下発電機室)	運	5. 過電流継電器																				
		(1) 汚損、損傷はないか	○	○			○	○														
		(2) 動作表示器の表示は出ていないか	○	○			○	○														
		(3) タップ、レバー等の整定値はよいか	○	○			○	○														
		(4) 動作試験はよいか	-	○			-	○														
	転	(5) 特性試験はよいか	-	○			-	○														
		6. 逆電力継電器																				
		(1) 汚損、損傷はないか	○	○			○	○														
		(2) 動作表示器の表示は出ていないか	○	○			○	○														
		(3) タップ、レバー等の整定値はよいか	○	○			○	○														
	操	(4) 動作試験はよいか	-	○			-	○														
		(5) 特性試験はよいか	-	○			-	○														
		7. 不足電圧継電器																				
		(1) 汚損、損傷はないか	○	○			○	○														
		(2) 動作表示器の表示は出ていないか	○	○			○	○														
	作	(3) タップ、レバー等の整定値はよいか	○	○			○	○														
		(4) 動作試験はよいか	-	○			-	○														
		(5) 特性試験はよいか	-	○			-	○														
		8. 過電圧継電器																				
		(1) 汚損、損傷はないか	○	○			○	○														
盤	(2) 動作表示器の表示は出ていないか	○	○			○	○															
	(3) タップ、レバー等の整定値はよいか	○	○			○	○															
	(4) 動作試験はよいか	-	○			-	○															
	(5) 特性試験はよいか	-	○			-	○															
	9. 不足周波数継電器																					
(1) 汚損、損傷はないか																						
(2) 動作表示器の表示は出ていないか																						
(3) タップ、レバー等の整定値はよいか																						
(4) 動作試験はよいか																						
(5) 特性試験はよいか																						

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	点検対象	子エツク項目	1号発電機			2号発電機			盤			機			備考						
			周 6	期 12	判 良	定 否	周 6	期 12	判 良	定 否	周 6	期 12	判 良	定 否							
自家用発電設備(地下発電機室)	運転操盤	10. 地絡電圧継電器																			
		(1) 汚損、損傷はないか																			
		(2) 動作表示器の表示は出ていないか																			
		(3) タップ、レバー等の整定値はよいか																			
		(4) 動作試験はよいか																			
		(5) 特性試験はよいか																			
		11. 配線用遮断器																			
		(1) 異臭、変色、過熱はないか																			
		(2) 接続端子の緩みはないか																			
		(3) 負荷状態はよいか																			
		(4) 閉鎖状態はよいか																			
		(5) 絶縁抵抗値はよいか																			
		12. 器具等の点検																			
		(1) 端子ボルトの締付けはよいか																			
		(2) 配線の変色、過熱、損傷はないか																			
		(3) ユニットの計類器に過熱、変色、異臭及び、損傷はないか																			
		(4) シーケンサーの電池(リチウム)はよいか																			
		13. 配電盤(屋内キュービクルタイプ)はよいか																			
		(1) 据付状態はよいか																			
		(2) 破損、発熱はよいか																			
(3) 計器類の損傷、汚損はないか																					
(4) 扉開閉状態及び、施錠はよいか																					
(5) 断路器操作用フック棒等の備付はよいか																					
(6) 表示灯の不点、損傷、汚損はないか																					
(7) 操作スイッチ等の損傷、過熱、変色、汚損及び不具合はないか																					
(8) 不要品が残置されていないか																					
(9) 点検用スペースは確保されているか																					
(10) 接地はしてあるか																					

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	対象の象	チェック項目	1号発電機盤		2号発電機盤		盤		機		盤		機		備考		
			周 期 6	判 定 良	周 期 6	判 定 良	周 期 6	判 定 良	周 期 2	判 定 良	周 期 6	判 定 良	周 期 12	判 定 良			
																考 考	考 考
自家用発電設備 (地下・発電機室)	運転	14. 母線、引下線															
		(1) 被覆の損傷はないか	○		○		○		○		○		○		○		
		(2) たるみ、過熱、変色等はないか	○		○		○		○		○		○		○		
		(3) バンドの緩みはないか	○		○		○		○		○		○		○		
		(4) 支持棒子に亀裂、損傷、汚損等はないか	○		○		○		○		○		○		○		
		(5) 各接続部の締め付けはよいか	-		-		-		-		-		-		-		
		(6) クランプ類の变形、緩みはないか	-		-		-		-		-		-		-		
		(7) 電線相互間の距離はよいか	○		○		○		○		○		○		○		
		(8) 母線及び引下線の種類、太さ、接続方法はよいか	○		○		○		○		○		○		○		
		(9) 絶縁抵抗値はよいか	-		-		-		-		-		-		-		
		15. 起動、停止試験 (シーケンステスト)															
		(1) 先行機選択スイッチの切替えはよいか	-		-		-		-		-		-		-		
		(2) 自動、手動の切替えはよいか	○		○		○		○		○		○		○		
		(3) エンジン、発電機の始動状態はよいか	○		○		○		○		○		○		○		
		(4) 負荷の移行 (増～減) はスムーズか	-		-		-		-		-		-		-		
		(5) 計器の指示はよいか	○		○		○		○		○		○		○		
(6) 遮断器の投入、遮断はよいか	-		-		-		-		-		-		-				
(7) 故障警報テストはよいか	○		○		○		○		○		○		○				
(8) 状態表示灯及び故障表示灯のランプテストはよいか	○		○		○		○		○		○		○				
記																	

電気設備保守点検表

点検周期	6ヶ月, 12ヶ月
------	-----------

区分	点検対象	チェック項目	周期		判定		備考	
			6	12	良	否		
自家用発電設備 (地下発電機室)	空	1. 設置状況						
		(1) 圧縮機及び空気槽の据付状態はよいか	○	○				
		(2) 支持ボルト、ナットにゆるみ、発錆はないか	○	○				
		(3) 床面に油や水が流れた形跡はないか	○	○				
		(4) 不要品を放置していないか	○	○				
	圧縮機	圧縮	(5) 外観上不具合な箇所はないか	○	○			
			2. 圧縮機					
			(1) 油面計の油面はよいか	○	○			
			(2) アンローダー弁はよいか	○	○			
			(3) 高圧安全弁はよいか	○	○			
			(4) 低圧圧力計の指示はよいか	○	○			
			(5) Vベルトにたるみ、磨耗、損傷はないか	○	○			
			(6) 逆弁はよいか	○	○			
			(7) エアーのドレン抜きはしたか	○	○			
			(8) L、O圧力計の指示はよいか	○	○			
			(9) 電動機及び圧力ポンプに異音、異臭、過熱、変色及び異常振動はないか	○	○			
			(10) 常用、予備の切替えはスムーズか	○	○			
			3. 空気槽					
			(1) 充気弁、始動弁のハンドルはよいか	○	○			
			(2) 安全弁はよいか	○	○			
(3) 圧力計の指示はよいか	○	○						
(4) 減圧弁の調整はよいか	○	○						
(5) ドレン分離器はよいか	○	○						
(6) エアーのドレン抜きはしたか	○	○						
(7) 充気管及び始動空気管からエアー洩れはないか	○	○						
(8) エアーフィルターの掃除はよいか	-	○						
記事								

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月, 12ヶ月

区分	点検対象	チェック項目	周期		判定		備考
			6	12	良	否	
自家用発電設備(地下・発電機室)	燃料	1. 燃料小出槽					
		(1) 据付状態はよいか	○	○			
		(2) 燃料のはく離、錆、損傷はないか	○	○			
		(3) フロートスイッチはよいか	○	○			
		(4) 油面計の指示はよいか	○	○			
	油系統	(5) ドレン抜きはしたか。又、油もれはないか	○	○			
		2. 移送、返油ポンプ					
		(1) 移送ポンプの交互運転はよいか	○	○			
		(2) ポンプ、モーターに過熱、異音、異臭はないか	○	○			
		(3) ボルト、ナット、パッキン等にゆるみはないか。又、油もれはないか	○	○			
		3. 配管その他					
		(1) 配管からの油洩れはないか	○	○			
		(2) 配管継手のボルト、ナット、パッキンのゆるみはないか	○	○			
		(3) 電磁弁、バルブの開閉状態はよいか	○	○			
		(4) 燃料流量計の読みはよいか	○	○			
		(5) オイルフィルターはよいか	○	○			
		(6) 燃料油の配管に色別及び経路を表示してあるか	○	○			
		冷却水系統	冷却	1. 冷却水槽	○	○	
(1) 据付状態はよいか							
(2) 燃料のはく離、錆、損傷はないか	○			○			
(3) 電極棒、温度スイッチはよいか	○			○			
(4) 水位計の指示はよいか	○			○			
水系統	(5) ドレン抜きはしたか。又、水洩れはないか		○	○			
	2. 冷却水ポンプ		○	○			
	(1) ポンプ、モーターに過熱、異音、異臭はないか		○	○			
	(2) ボルト、ナット、パッキン等にゆるみはないか。又、油もれはないか		○	○			
	3. 配管その他		-	○			
	(1) 温調弁、検水器の動きはよいか		○	○			
	(2) 配管継手のボルト、ナット、パッキンのゆるみはないか		○	○			
	(3) バルブの開閉状態はよいか		○	○			
発電機室	(4) エア抜弁からエア抜きをしたか	○	○				
	(5) 不凍液(ロングライフクーラント)の色はよいか	○	○				
	(6) 冷却水の配管に色別及び、経路を標示してあるか	○	○			取替周期 2年	
	記事	_____					

電気設備保守点検表

点検周期 6ヶ月 12ヶ月

区分	点検対象の象	チェック項目	1号発電機盤			2号発電機盤			電機盤			補機			盤				
			周 6	期 12	判 良	定 否	周 6	期 12	判 良	定 否	周 6	期 2	判 良	定 否	周 6	期 12	判 良	定 否	
自家用発電設備(屋外)	冷却	1. 設置状況																	
		(1) 据付状態はよいか	○	○															
		(2) 冷却塔の周辺に不要品が放置されていないか	○	○															
		(3) 棚の施錠はよいか	○	○															
		2. 冷却塔																	
		(1) 循環水量はよいか	○	○															
		(2) 塔体の腐蝕、塵埃の附着はないか	○	○															
		(3) 下部水槽に泥やゴミ等が溜まっているか	○	○															
		(4) ストリーナーの目詰まりはないか	○	○															
		(5) ドレン抜きはしたか	○	○															
		(6) ファーンに変形や傷あるいは塵埃、スケールなどが附着していないか	○	○															
塔	冷却	(7) 送風機に過熱、異臭、異音はないか	○	○															
		(8) ベルトの緩み、又は切断はないか	○	○															
		(9) 散水孔が塵埃や雜物で目詰まりしていないか	○	○															
		(10) 熱交換器に破損、変形はないか	○	○															
		(11) 塗料は、剥離していないか	○	○															
		3. 配管その他附属器具																	
		(1) 散布水ポンプに異常はないか	○	○															
		(2) 消音マット、ルーバー等に破損、変形はないか	○	○															
		(3) 配管の継手ボルト、パッキンに緩みはないか	○	○															
		(4) 配管の取替状態はよいか	○	○															
		(5) パルプの開閉状態はよいか	○	○															
(6) 凍結防止装置はよいか	○	○																	
記事																			

防災設備保守点検表

(その1)

1. 自動火災報知設備							
名 称	所 在	防 管 理 火 者	立 会 者	◎	◎	◎	
点検種別	外観・機能・総合	点検年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
点 検 者	資格 番号	点 検 者	社名	TEL			
	氏名 ◎	所属会社	住所				
点 検 設 備 名	受 信 機	製造者名					
		型式等					
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容		
	種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容				
外 観 点 検							
予備電源・ 非常電源 (内蔵型)	外 形						
	表 示						
受 信 機 ・ 中 継 器	周 囲 の 状 況						
	外 形						
	警戒区域表示装置						
	電 圧 計	V					
	ス イ ッ チ 類						
感 知 状 況	予 備 品 等						
	外 形						
	警 戒 状 況	未警戒部分					
		感知区域					
	適 応 性						
機 能 障 害							
周 囲 の 状 況	周 囲 の 状 況						
	外 形						
	外 形						
標 識 板	外 形						
	常 夜 灯						
表 示 灯	表 示 灯						
	外 形						
音 響 装 置	外 形						
	取 付 状 態						
機 能 点 検 (自動試験機能を有しないもの)							
端子電圧		V					

予備電源 (内蔵型・非常)	切替装置				
	充電装置				
	結線装置				
受信機・中継器	スイッチ類				
	ヒューズ類		A		
	継電器				
	表示灯				
	通話装置				
	結線接続				
	接地				
	附属装置				
	火災表示等				
	回路導通				
※感知器	熱感知器	スポット型	差動式		
		スポット型	定温式		
	分布型	空気管式			
		熱電対式			
		熱半導体式			
	感知線型				
知器	煙感知器	スポット型	イオン化式		
		スポット型	光電式		
	分離型				
	炎感知器				
熱複合式					
熱煙複合式					
煙複合式					
※発信器					
※音響装置	音量等				
	鳴動方式		一斉 区分 相互		
蓄積機能					
二信号機能					

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格B4とすること。

防災設備保守点検表

(その2)

1. 自動火災報知設備				
点検項目	点検結果			措置内容
	種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機能点検 (自動試験機能を有するもの)				
予備電源・非常電源 (内蔵型)				
受信・中継器	通話装置			
	接地			
	附属装備			
	火災表示			
	制御機能及び電路			
	記録装置			
※ 感知器				
※ 発信器				
※ 音響 音量等				
装置 鳴動方式		一斉 区分 相互		
蓄積機能				
二信号機能				
総合点検 (自動試験機能を有しないもの)				
F 時作動				
※※ 煙感知器等感度				
※※ 地区音響装置音圧				
総合作動				
配線	絶縁	電源回路	MΩ Ω	
		表示回路		
		警報回路		
	抵抗	感知回路		
		附属装置回路		
	耐熱	電源回路		
	保護	警報回路等		
	専用回路			
開閉器・遮断器				

総 合 点 検 (自動試験機能を有するもの)

同時作動					
※※地区音響装置音圧					
配線抵抗	電源回路	MΩ			
	表示灯回路	MΩ			
	警報回路	MΩ			
	感知器回路	MΩ			
	附属装置回路	MΩ			
耐熱保護	電源回路				
	警報回路				
線	専用回路				
	開閉器・遮断器				

備考

測定機器	機 械 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 械 名	型 式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器				マノメーター			
	加煙試験器				空気注入試験器			
	煙感知器用感度試験器				メケ-リレ-試験器			
	普通騒音計				回路計			
	減光フィルター							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B4とすること。
- 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。
- 5 措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 非常電源を内蔵していないものあつては、非常電源点検票を添付すること。
- 7 ※印のあるものにあつては、(その3)に警戒区域ごとの点検結果を記入すること。
- 8 ※※印のあるもので不良のものは、(その4)に機器ごとの点検結果を記入すること。
- 9 多信号感知器にあつては、該当する欄にその旨を記入すること。
- 10 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

防災設備保守点検表

(その3)

1. 自動火災報知設備

警戒区域		感 知 器											※地区音響装置	発信結果				
番号 No	名称	差動式			定温式			※煙式				炎感知器			熱複合式スポット型	※熱煙複合式スポット型	※煙複合式スポット型	多信号
		※分布型			スポット型	※感知線型	スポット型		光電式分離型									
		空気管式	熱電対式	熱半導体式			イオン化式	光電式	非蓄積	蓄積	非蓄積							
													非蓄積	蓄積				
計																		
備考																		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
 2 受信機の表示番号ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その4)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。

防災設備点検表

(その1)

2. 非常警報設備									
名称		所在			防管理火者	立会者			
点検種別	外観・機能・総合	点検年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
点検者	資格番号	点検者	社名			TEL			
	氏名	所属会社	住所						
点検	操作装置	製造者名			増幅器	製造者名			
設備名	複合装置	型式等			型式等	型式等			
点検項目	点検結果						措置内容		
	種別・容量等の内容	判定	不良内容						
外観点検									
非常電源 (内蔵型)	外形								
	表示								
非常ベル・自動式サイレン	起動装置	周囲の状況							
		外形							
	操作装置等	外形							
		電圧計		V					
		スイッチ類							
	ベサル・レン	表示							
		予備品等							
表	取付状態								
放送設備	起動装置	表示灯							
		周囲の状況							
	増幅器等	外形							
		外形							
		電圧計		V					
		スイッチ類							
		保護板							
表示									
予備品等									
スピーカ	外形								
	取付状態								
表	表示灯								
警鐘・ゴング等	周囲の状況								

外形		機能点検			
非常電源 (内蔵型)	端子電圧	V			
	切替装置				
	充電装置				
	結線接続				
非常ベル・自 式サイレン	起動装置				
	操作装置等	スイッチ類			
		ヒューズ類	A		
	継電器				
	表示灯				
	結線接続				
接地					
式サイレン	ベル・サイレン	音量等			
		鳴動方式	一斉 区分 相互		
	起動装置	押しボタン等			
		非常電話			
	放送器 等 備	増幅器	スイッチ類		
ヒューズ類			A		
継電器					
幅器		計器類			
		表示灯			
		結線接続			
等		接地			
		回路選択			
		二以上の操作装置			
		自動火災報知設備連動			
		非常用放送切替			
		遠隔操作器連動			
スピーカ	回路短絡				
	火災音信号				
	音量等				
警鐘・ゴング等	鳴動方式	一斉 区分 相互			
	音量調整器				

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格B4とすること。

防災設備保守点検表

(その2)

2. 非常警報設備

点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容				
	種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容					
総 合 点 検								
音響装置・スピーカーの音量								
総 合 作 動								
配 線 抵 抗	電 源 回 路	常用 MΩ 非常 MΩ						
	操 作 回 路	MΩ						
	表 示 灯 回 路	MΩ						
	警 報 回 路	MΩ						
	附 属 装 置 回 路	MΩ						
耐 熱 保 護	電 源 回 路							
	操 作 回 路・表 示 灯 回 路 等							
専 用 回 路								
開 閉 器・遮 断 器								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。
 5 措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 ただし非常電源を内蔵しているものにあつては、配線点検票のみを添付すること。

防災設備保守点検表

3. 誘導灯設備									
(設置階 階)									
名称		所在			防管理火者		立会者		
点検種別		点検年月日		年 月 日		年 月 日			
点検者		資格 番号		点検者		社名		TEL	
		氏名		所属会社		住所			
点検項目		点検結果						措置内容	
		種別・容量等の内容			判定不良内容				
		避難口	通路	客席					
外 観 点 検									
誘導灯	非常電源 (内蔵型)	外形表示							
	外箱・表示面	外形							
		視認障害							
	光源								
誘導標識	外形								
	視認障害								
	採光								
機 能 点 検									
	光源								
	点検スイッチ								
	ヒューズ類								
	結線接続								
	非常電源								
備考									
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
- 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。
- 5 措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 非常電源点検票及び配線点検票を添付すること。ただし非常電源を内蔵しているものにあつては、配線点検票のみを添付すること。
- 7 この点検票は、各階ごとに別用紙とすること。

配 線 点 検 票

(設備名)

名 称		所 在		防管 理 火者	Ⓜ	立 会 者	Ⓜ
点検種別	総 合	点検年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
点 検 者	資格 番号	点 検 者	社名 TEL				
	氏名 Ⓜ		所属会社	住所			

点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容
	種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	

総 合 点 検					
配 線	絶 縁 抵 抗	電 源 回 路	常用 MΩ 非常 MΩ		
		操 作 回 路	MΩ		
		表 示 灯 回 路	MΩ		
		警 報 回 路	MΩ		
		感 知 器 回 路	MΩ		
		附 属 装 置 回 路 等	MΩ		
	耐 熱 回 路	電 源 回 路			
		操 作 回 路 ・ 表 示 灯 回 路 等			
	専 用 回 路				
	開 閉 器 ・ 遮 断 器				

備 考	
--------	--

測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。

防災設備保守点検表

(その1)

4. ガス漏れ警報設備							
名 称	所 在	防 管 理 火 者	立 会 者	◎	◎	◎	
点検種別	外観・機能・総合	点検年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
点 検 者	資格 番号	点 検 者	社名 TEL				
	氏名 ◎	所属会社	住所				
点 検 設 備 名	受信機	製造者名	中継器	製造者名			
		型式等		型式等			
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容		
	種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容				
外 観 点 検							
電源・非常電源 (内蔵型)	外 形						
	表 示						
受信機・中継器	周囲の状況						
	外 形						
	警戒区域表示装置						
	電 圧 計	V					
	スイッチ類						
	表 示						
ガス漏れ警報器	予 備 品 等						
	外 形						
	警 戒 状 況	未警戒部分					
		設置場所・設置位置					
警 報 装 置	適 応 性						
	機 能 障 害						
	音 声 警 報 装 置	外 形					
		外 形					
	取付状態						
	ガス漏れ表示灯						

	探知区域 警報装置	外形 取付状態				
機 能 点 検						
予電 備源 電(源内 ・蔵 非型 常)	端子電圧・出力電圧		V			
	切替装置					
	充電装置・逆変換装置					
	結線接続					
受信機 ・ 中継器	スイッチ類					
	ヒューズ類					
	継電器		A			
	表示灯					
	通話装置					
	結線装置					
	接 地					
	附属装置					
	ガス漏れ表示					
	回路導通					
故障表示						
※ガス漏れ探知器						
※ 警 報 装 置	音声	増幅器・ 操作部				
		警報装置	スピーカ			
	ガス漏れ表示灯					
	探知区域	音圧等				
		警報装置	鳴動区域			

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格B4とすること。

防災設備保守点検表

(その2)

4. ガス漏れ警報設備

点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容				
	種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容					
総 合 点 検								
同 時 作 動								
探知区域警報装置	dB							
総 合 作 動								
測 減 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
	加ガス試験管				回 路 計			
	指示騒音計							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
- 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。
- 5 措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 非常電源点検票及び配線点検票を添付すること。ただし、非常電源を内蔵しているものにあつては、配線点検票のみを添付すること。
- 7 ※印のあるものにあつては、(その3)に警戒区域ごとの点検結果を記入すること。

防災設備保守点検表

(その3)

4. ガス漏れ警報設備

警戒区域		ガス漏れ検知器	検知区域警報装置	ガス漏れ表示灯	音声警報装置の スピーカ	点検結果	措置内容
番号 No	名称						
合 計							
備考							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
- 2 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良の項はその内容を措置欄に記入すること。
- 3 判定欄は、受信機の表示番号ごとに個数を記入すること。

防災設備保守点検表

5. 防火戸・防火シャッター設備

名称		所在		防管理 火者	Ⓔ	立 会 者	Ⓔ
点検種別	外觀・機能・総合	点検年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
点検者	資格 番号	点検者	社名	TEL			
	氏名 ④	所属会社	住所				
点検 設備名	排煙機	製造者名					
		型式等					
点検項目	点検結果					措置内容	
	種別・容量等の内容	判定	不良内容				
外 観 点 検							
区画壁	煙 固定壁						
	煙 可動壁						
吸煙口							
風道							
電動機 の 制御 装置	制御盤	周囲の状況					
		外形					
	電圧計		V				
	開閉器・スイッチ類						
	表示						
	予備品等						
自動式起動装置							
手起 装置	手起 式装置	周囲の状況					
		外形					
	ハンドル等						
排煙機							
排煙口							
機 能 点 検							
排煙区画壁							
吸煙機							
風道	支 持 部						
	防 火 ダ ン パ ー						
	接 続 部						
電動機	開閉器・スイッチ類						
	ヒューズ類		A				

の 制 御 装 置	繼電器							
	表示灯							
	結線接続							
	接地							
起 動 装 置	自動式起動装置							
	手動式起動装置							
排 煙 機	電 動 機	回 転 軸						
		軸 受 部						
		動力伝達装置						
	本 体							
回 轉 羽 根	回 轉 軸	回 転 軸						
		軸 受 部						
総 合 点 検								
起 動 状 況								
運 転 電 流								
運 転 状 況								
回 転 方 法								
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造年月日	機 器 名	型 式	校正年月日	製造年月日

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
- 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。
- 5 措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 非常電源点検票及び配線点検票を添付すること。

配 線 点 検 票

(設備名)

名 称		所 在		防管 理 火者		立 会 者		
点検種別	総 合	点検年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
点 検 者	資格 番号	点 検 者	社名		TEL			
	氏名	所属会社	住所					
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容			
	種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容				
総 合 点 検								
絶 縁 抵 抗	電 源 回 路	常用 MΩ	非常 MΩ					
	操 作 回 路		MΩ					
	表 示 灯 回 路		MΩ					
	警 報 回 路		MΩ					
	感 知 器 回 路		MΩ					
	附 属 装 置 回 路		MΩ					
	耐 熱 保 護	電 源 回 路						
		操 作 回 路・表 示 灯 回 路 等						
	専 用 回 路							
	開 閉 器・遮 断 器							
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。

防災設備保守点検表

(その1)

非常電源（自家発電設備）点検票		（設備名）	
名称	所在	防管理火者	立会者
点検種別	作動・外観・機能・総合	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日
点検者	資格番号	点検者	社名 TEL
	氏名	所属会社	住所
点検設備名	原動機	製造者名	製造者名
		型式等	型式等
点検項目	点検結果		措置内容
	種別・容量等の内容	判定不良内容	
作動点検			
作動状況			
外観点検			
設置状況	周囲の状況		
	区域等	専用室・キュービクル	
	水の浸透		
	換気	自然 機械	
	照明		
表示	標識		
	自家発電装置		
	原動機		
	発電機		
自家発電制御装置	KVA		
始動装置	※始動用蓄電池設備		
	始動用外形		
	空気圧縮設備 始動空気だめ	ℓ kgf/cm ²	
制御装置	周囲の状況		
	外形		
	電源表示灯		
	開閉器・遮断器		
計器類			
燃料タンク	外形		
	油量種類	ℓ	

冷却水タンク	外形				
	水量	ℓ			
排気筒	周囲の状況				
	外形				
	貫通部				
配管					
予備品等					
機能点検					
自家発電装置	潤滑油類	原動機			
		発電機			
		冷却装置			
		性能			
		手動停止装置	機械式・電気式		
		※始動用蓄電池設備			
動装置	始動用空気	潤滑油類			
	圧縮設備	性能			
制御装置	開閉器・遮断機				
	ヒューズ類				
	継電器				
	表示灯				
計器類					
結線接地					
接地					
耐震措置					
総合点検					
接地抵抗	一種	Ω			
	種	Ω			
絶縁抵抗	電機子巻線	MΩ			
	界磁巻線	MΩ			
	主回路相互間	MΩ			
	主回路大地間	MΩ			
	制御回路	MΩ			
	電動機等	MΩ			
	その他の機器等	MΩ			

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格B4とすること。

非常電源（自家発電設備）点検票

点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容				
	種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容					
始 動 装 置	※始動用蓄電池設備							
	始動用空気圧縮設備	時間						
	始 動 補 助 装 置							
保 安 装 置								
調 速 機								
負 荷 運 転	運 転 状 況							
	背 圧 測 定	mm水柱						
	換 気	最終室温 ℃						
備 考	電気主任技術者 氏名及び資格							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格B5とすること。
 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すること。
 5 措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 ただし非常電源を内蔵しているものについては、非常電源点検票(蓄電池設備)のみを添付すること。